

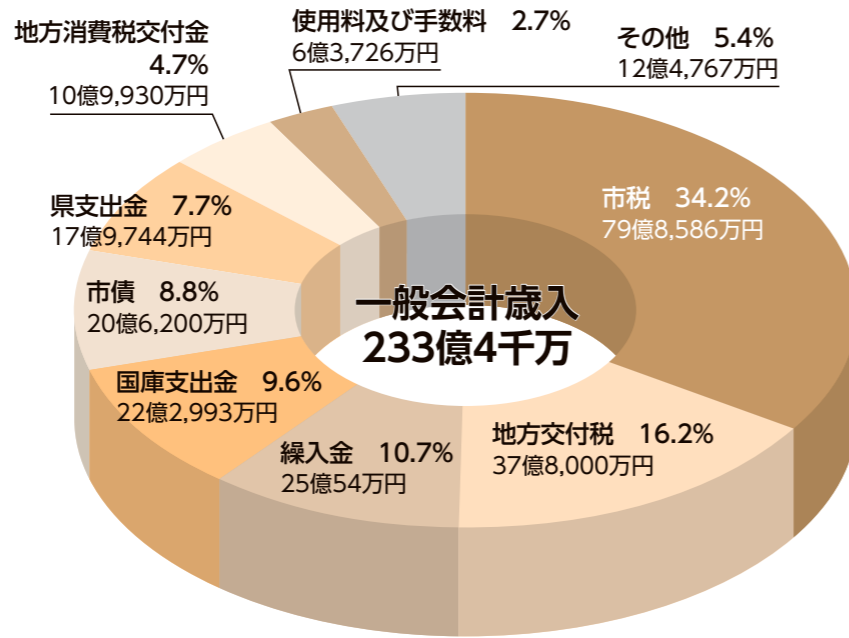
一般会計予算の内訳

歳入

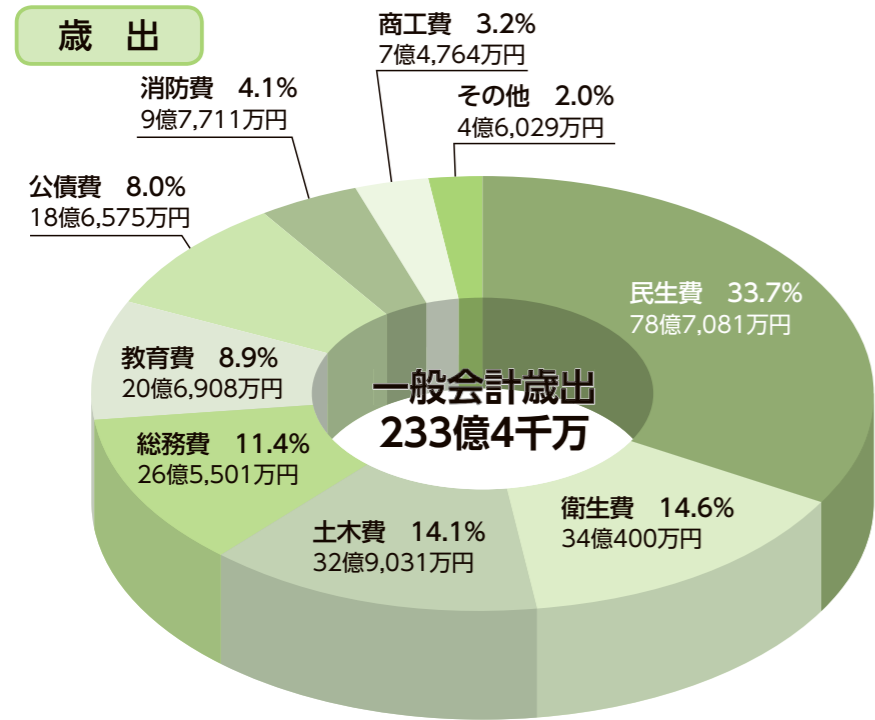
企業の業績好調による法人市民税の増額や、設備投資の拡大による償却資産に係る固定資産税の増額を見込み、市税の総額は79億8,586万円と前年度比2.3%増としました。

また、地方交付税は国の税収が増えたことなどを背景に、37億8,000万円と前年度比7.4%増を見込んでいます。

使用料及び手数料は、ごみ処理手数料を見込むことから、6億3,726万円と前年度比2.0%増とされています。



歳出



引き込みりやニートの人たちが生活困窮に陥らないよう支援するための経費を新たに計上しました。また、引き続き美濃焼振興事業に取り組むほか、2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を生かした観光PRを展開し、地域活性化を推進するための経費を計上しています。

教育関連ではICT（情報通信技術）を活用した教育を推進するための経費や、文化遺産に親しみ学ばう環境を整えるため、乙塚古墳附段尻巻古墳を整備する経費を計上しています。

また、引き続き駅前広場整備事業や土岐口開発に伴う周辺道路新設事業を進め、安全で快適な暮らしを支える基盤づくりを進めていきます。

市民1人あたりに使われる一般会計予算（2月末人口 58,481人で計算）

民生費	衛生費	土木費	総務費	教育費	公債費	消防費	その他
134,587円	58,207円	56,263円	45,400円	35,380円	31,904円	16,708円	商工費、議会費、農林水産業費など 20,655円

合計 399,104円

# 予算総額488億256万円

一般会計 233億4,000万円  
特別会計 130億2,654万円  
企業会計 124億3,602万円

**情報通信技術を活用した教育の推進、引き続き基盤整備にも配分**

第1回土岐市議会定例会において、平成31年度当初予算が可決されました。

第六次土岐市総合計画に掲げるまちの将来像「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」の実現のため、限られた予算で最大効果を挙げるよう各施策を実施します。

一般会計では駅前広場整備の完成に向け引き続き工事を進めるほか、全小学校にタブレットパソコンを導入しICT（情報通信技術）を活用した教育を推進するなどの経費を計上しています。前年度当初予算と比較しては、新庁舎建設工事費が大幅に減額するため10.9%の減となっています。

特別会計では、国民健康保険事業の保険給付費の減額などにより12.8%の減となっています。また、企業会計では、病院事業の企業償還金、水道事業の配水施設改良費などが減額するものの、下水道事業の同会計への移行に伴い、28.5%の増となっており、総予算額では4.0%の減となっています。

企画財政課（☎1145）

平成31年度当初予算 会計別内訳

会計名	平成31年度	平成30年度	前年度比
一般会計	233億4,000万円	262億円	△10.9%
特別会計	下水道事業	—	19億3,471万円 皆減
	国民健康保険	60億5,716万円	60億8,925万円 △0.5%
	駐車場事業	1億3,715万円	6,333万円 116.6%
	介護保険（保険事業勘定）	59億9,213万円	59億7,920万円 0.2%
	介護保険（サービス事業勘定）	1,842万円	1,521万円 21.1%
	農業集落排水事業	—	3,978万円 皆減
	土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,155万円	5,376万円 △22.7%
	土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会	577万円	589万円 △2.1%
	後期高齢者医療	7億7,436万円	7億5,685万円 2.3%
	計	130億2,654万円	149億3,798万円 △12.8%
企業会計	病院事業	65億9,507万円	68億4,203万円 △3.6%
	水道事業	27億1,721万円	28億3,453万円 △4.1%
	下水道事業	31億2,374万円	— 皆増
計	124億3,602万円	96億7,656万円 28.5%	
合計	488億256万円	508億1,454万円 △4.0%	





### 基本目標3 豊かな心と文化を育む人づくり

- ▷ 史跡乙塚古墳附段尻巻古墳保存整備事業 5,234万円  
地域の貴重な文化遺産である史跡乙塚古墳附段尻巻古墳の整備を進めます。
- ▷ ICTを活用した学校教育 4,950万円  
教師の指導力と子どもの学力向上のため、タブレットパソコンを利用した学習方法を導入します。
- ▷ 小中学校空調の整備 2,136万円  
児童・生徒の健康に配慮し、安心して学習に取り組める環境をつくるため、教室に空調設備を設置します。
- ▷ 小・中学校グローバル人材の育成 1,558万円  
ALT（外国人英語指導助手）を市内小中学校に派遣し、充実した英語教育を進めます。



▲乙塚古墳附段尻巻古墳整備イメージ

### 基本目標4 安全で快適な暮らしを支える基盤づくり

- ▷ 駅前広場の整備 4億1,519万円  
市の玄関口の1つとして魅力ある環境空間の創出のため、無電柱化工事や交差点改良工事などを行います。
- ▷ 土岐口開発に伴う道路の整備 5億7,600万円  
県道土岐南多治見インター線と土岐口開発に伴う周辺道路を結ぶ道路工事において、国道19号跨道橋などの道路新設工事を進めます。
- ▷ 下水道管路施設の長寿命化 1億6,412万円  
将来にわたり下水道管路・施設を維持管理していくため長寿命化計画に基づき、土岐津地区の更新工事を進めます。
- ▷ 橋梁の整備 1億2,975万円  
老朽化と耐震性を点検し、耐震補強や架け替え工事を行います。



▲土岐口開発周辺道路新設事業

### 基本目標5 協働の仕組みづくり

- ▷ 新庁舎の建設 6億4,323万円  
今後のまちづくりの先導的な役割を果たし持続性のある庁舎を整備するため、新庁舎の建設工事を進めます。
- ▷ 定住促進の奨励 2,460万円  
他市町村からの移住・定住を促進するため、新築・中古住宅を取得した方に奨励金を交付します。
- ▷ まちづくり活動の支援 503万円  
ワークショップやイベントを開催し、市民と行政が協働して街づくりに取り組む体制づくりを進めます。
- ▷ 空き家バンク活用事業 200万円  
空き家の有効活用を通じ、住環境の確保や定住促進を図ります。



▲新庁舎建設現場

## 土岐市の将来像

# 「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」

第六次土岐市総合計画の5つの基本目標を達成するため、今年度は次の主要事業を実施します。

### 基本目標1 支え合い安心できる暮らしづくり

- ▷ 病院情報システムの構築・更改 1億7,600万円  
電子カルテシステムが更新時期を迎えるため、システムおよび周辺機器、関連システムの更新・改修を行います。
- ▷ 核医学診断装置の更新 8,800万円  
より安心・安全な医療サービスを提供するため核医学診断装置を更新します。
- ▷ 特定不妊治療費の助成 338万円  
特定不妊治療に掛かる費用の一部を助成します。
- ▷ 地域でつながる居場所づくり事業 300万円  
引き込みりやニートなど社会から孤立している人が生活困窮に陥らないよう、関係機関と連携し自立に向けて支援します。



▲電子カルテシステム

### 基本目標2 環境と調和したにぎわいづくり

- ▷ 環境センターの長寿命化 2億1,148万円  
老朽化が進む焼却施設などの長寿命化のため、改修工事を行います。
- ▷ 市民バス活性化・総合再生事業 5,273万円  
市民の移動ニーズに即した市民バスの運行、デマンド運行、路線の見直しを行います。
- ▷ 美濃焼の振興 1,561万円  
美濃焼業界の活性化を推進するため、全国各地で行われる陶磁器展示販売イベントへの出展などを支援します。
- ▷ 観光PR 1,195万円  
市の地名度向上や観光まちづくりの推進のため観光パンフレットの作成や、大河ドラマ「麒麟がくる」のPRイベントなどを行います。



▲市民バス（黄瀬戸号）